

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

個人投資家さま向け会社説明会

2025年3月17日

株式会社山口フィナンシャルグループ
(東証プライム市場：8418)

棕梨 敬介 / *Keisuke Mukunashi*

山口県下関市出身

【経歴】

- | | |
|-------|---------------------------------|
| 1995年 | 山口銀行 入行 |
| 2012年 | 北九州銀行 赤坂門支店長 |
| 2013年 | 山口銀行 小郡支店長 |
| 2016年 | 山口銀行 事業性評価部長 |
| 2017年 | YMFG ZONEプランニング
代表取締役 |
| 2019年 | 山口フィナンシャルグループ
執行役員 |
| 同年 | YMキャリア 代表取締役 |
| 2020年 | 山口フィナンシャルグループ
代表取締役社長グループCOO |
| 2021年 | 山口フィナンシャルグループ
代表取締役社長CEO（現任） |



この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

目次

I. YMFG概要	… 4
II. 業績	… 16
III. 株主還元	… 24

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

I. YMFG概要



株式会社 山口フィナンシャルグループ

本社所在地

山口県下関市

代表者

代表取締役社長CEO
棕梨 敬介

総資産

12兆8,268億円

グループ
従業員数

3,872人
(嘱託および臨時従業員を除く)

上場市場

東証プライム市場
(証券コード：8418)

パーパス（使命・存在意義）

地域の豊かな未来を共創する

ビジョン（将来あるべき姿）

地域に選ばれ、地域の信頼に応える、
地域価値向上企業グループ

ブランドスローガン

この世界で。
この街で。
このじぶん。

ブランドスローガン策定の背景

当社グループのパーパスは「共創」の言葉を含んでいるとおり、すべてのステークホルダーの皆さまにご理解・共感いただいて初めて実現できるものです。パーパスの理念を分かりやすくお伝えするため、一人ひとりが「じぶん」を主語にして捉えられるブランドスローガンを策定しました。

ブランドスローガンに込めた想い

「地域」という言葉は、仕事や未来を限定するものではなく、むしろ無限の可能性を秘めていると私たちは考えています。世界と瞬時に繋がる現代において、「この世界のじぶん」という立ち位置で、「この街のじぶん」を考えたとき、地域の一人ひとりの人生が、日本へ、世界へと影響していくことがみえてきます。私たちは、そんな誇りと考え方をもち、皆さまと共に歩んでいきたいという想いを、ブランドスローガンに込めています。



じぶんの人生から出ていこう。

「健全なる積極進取」の精神を以て、新たなチャレンジを続ける地域金融グループ

● YMFG誕生

- 2006年、山口銀行ともみじホールディングス（もみじ銀行の持株会社）が経営統合しYMFGが誕生

- ・ ドリームインキュベータを持分法適用会社化

- ・ 北九州銀行の営業開始し、現在の3行体制を構築

- ・ ワイエム証券を設立

- ・ YMFG ZONEプランニングを設立

- ・ データキュービックを設立

- ・ ワイエムリースを完全子会社化

- ・ YMキャリアを設立

- ・ にしせと地域共創債権回収を設立

- ・ イネサス、西瀬戸マリパートナーズを設立

- ・ 山口キャピタル、地域商社やまぐちを子会社化

Topics

140年超の歴史を有する山口銀行



- YMFGの源流をなす山口銀行の前身である第百十国立銀行は1878年（明治11年）に創業

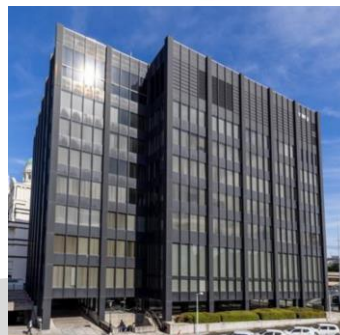
（山口銀行旧本店）

経営基盤強化に向け、他社に先駆けてグループ内の人事制度・システム等を共通化

 北九州銀行



 山口銀行



 もみじ銀行



人事制度・採用

企画部門・管理部門

システム

ガバナンス・リスク管理・
内部管理体制

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

3銀行を中心にグループのシナジー発揮により高品質なソリューションを提供



山口銀行

山口県を中心に
国内 124店舗
海外 2店舗 1駐在員事務所

- 山口県内で盤石な基盤を有す
- 法人取引に強く、東京等の首都圏企業に対しても太いパイプを持つ



もみじ銀行

広島県を中心に
国内 103店舗

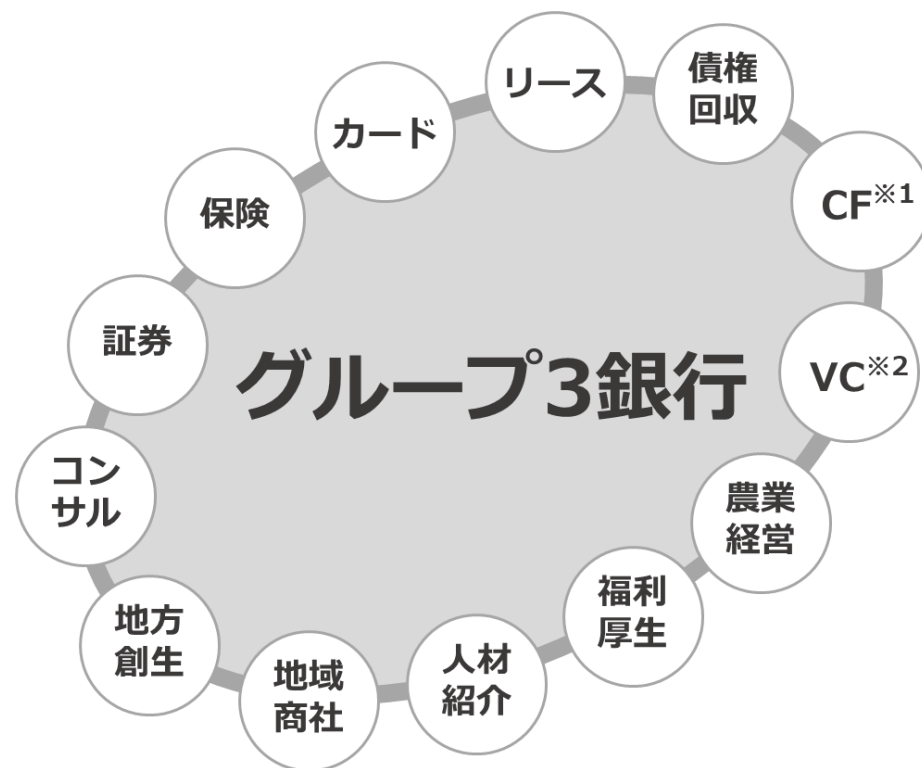
- 旧相互銀行の歴史を有し、中小企業取引や、ローン・資産運用などリテール取引に強みを持つ



北九州銀行

福岡県を中心に
国内 37店舗

- 3銀行の中で規模は一番小さいが、機動力を活かした運営でスピーディーな対応により、法人、リテールともに取引拡大中



※1 CF：クラウドファンディング

※2 VC：ベンチャーキャピタル

高い健全性と規模を併せ持つ、全国有数の地域金融グループ

● 全国上場地銀・グループランキング

総資産	12.8兆円
総預金残高	10.8兆円
総貸出金残高	8.7兆円
株式時価総額	3,851億円

※ 総資産・総預金残高・総貸出金残高：2024年12月末時点
株式時価総額：2025年 2月末時点

中四国
(全14社中)

1位
1位
1位
2位

全国
(全73社中)

11位
8位
9位
10位

● 高い健全性

総自己資本比率 **13.37%**

(2024年12月末時点)

● 外部評価

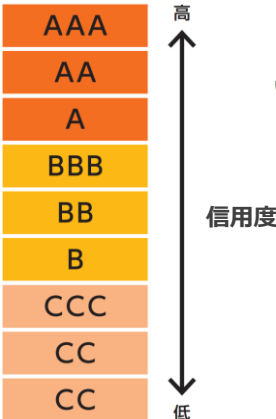
外部格付情報 (R&I)

YMFG **A+ (安定的)** →

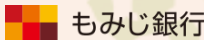
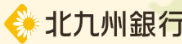
(2024年7月末時点)

《ご参考》

山口銀行	A+ (安定的)
もみじ銀行	A+ (安定的)
北九州銀行	A+ (安定的)



主要営業エリアは大きな経済規模を誇る一方で、多くの地域課題を有す

	人口	県内総生産（GDP）
山口県 	129万人 （全国27位）	6兆2,366億円 （全国25位）
広島県 	273万人 （全国12位）	12兆1,281億円 （全国12位）
福岡県 	510万人 （全国8位）	19兆4,571億円 （全国9位）

人口：総務省「2023年10月人口推計」
 県内総生産：内閣府「県民経済計算2021年度」より※名目ベース

● 主要エリア総人口
912万人

● 主要エリア内GDP
約38兆円

**ニュージーランドと
同程度の経済規模**

【ご参考】
 ニュージーランドの2023年度GDP
 2,521億米ドル※≒37.8兆円（1米ドル＝150円計算）

※ World Bank, WDI（World Development Indicators）参照

【地域課題】

高齢化

後継者不足

脱炭素

デジタル変革

etc . . .

それぞれの地域特有の課題に対して、グループ総合力で課題解決に取り組む

地方創生サミットの開催

- 2024年6月、下関市にて「Shimonoseki Add-venture Summit」を開催
- 当日は地域関係者（企業・行政・大学等）とスタートアップ関係者、総勢1,000名が参加
- 「地域」と「スタートアップ」の掛け合わせにより、新たなイノベーションを創出することで、地域の活性化を目指している



企業の脱炭素経営を支援

- 広島県呉市では企業の脱炭素化を促進するため、2023年度より「脱炭素化設備等導入補助金」を開始
- もみじ銀行は同補助金の活用をいち早く地域企業へ推進
- もみじ銀行およびYMFGグループ会社であるワイエムコンサルティングでは、同補助金事業を通じて、複数の事業者に対して当社グループのカーボンニュートラルソリューションである「CO₂削減ロードマップ策定支援」を提供するなど、地域企業が脱炭素経営に取り組むきっかけづくりに貢献

大学との連携による人材育成



公立大学法人

北九州市立大学
THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU



YMfg



北九州銀行

- 2025年2月、北九州市立大学とYMFGおよび北九州銀行は、新学部である「情報イノベーション学部（仮称）」設立に向け、地域社会を担う人材育成に向けた協力を行うことで連携協定を締結
- YMFGなどから講師を派遣して金融に関する教育を行うほか、地域課題の解決など実践的な教育を協働で実施する

長門湯本温泉（山口県）の温泉街再生プロジェクト

- 長門湯本温泉は山口県で約600年の歴史を有する温泉郷
- 当社は「長門湯本温泉まちづくりファンド投資事業有限責任組合（長門湯本ファンド）」を活用して、株式会社 Staple(広島県尾道市)とともに株式会社 SOIL Nagatoyumotoに共同出資し、長門湯本温泉の老舗温泉旅館「六角堂」を事業承継
- YMFGの子会社であるYMFG ZONEプランニングや山口キャピタルも参画し、グループ一体で温泉旅館の再生プロジェクトを推進
- 2025年3月15日に開業



2024年4月にドリームインキュベータを持分法適用会社化



「金融×ビジネスプロデュース×地域」による 新しい地銀ビジネスモデルの確立

ドリームインキュベータ（DI）について

- 東証プライム市場上場企業で、「社会を変える 事業を創る。」をミッションに掲げ、戦略コンサルティングをベースに、社会課題の解決を起点とした産業・新規事業を創出するビジネスプロデュース事業に取り組む

地域課題解決のプラットフォーム

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

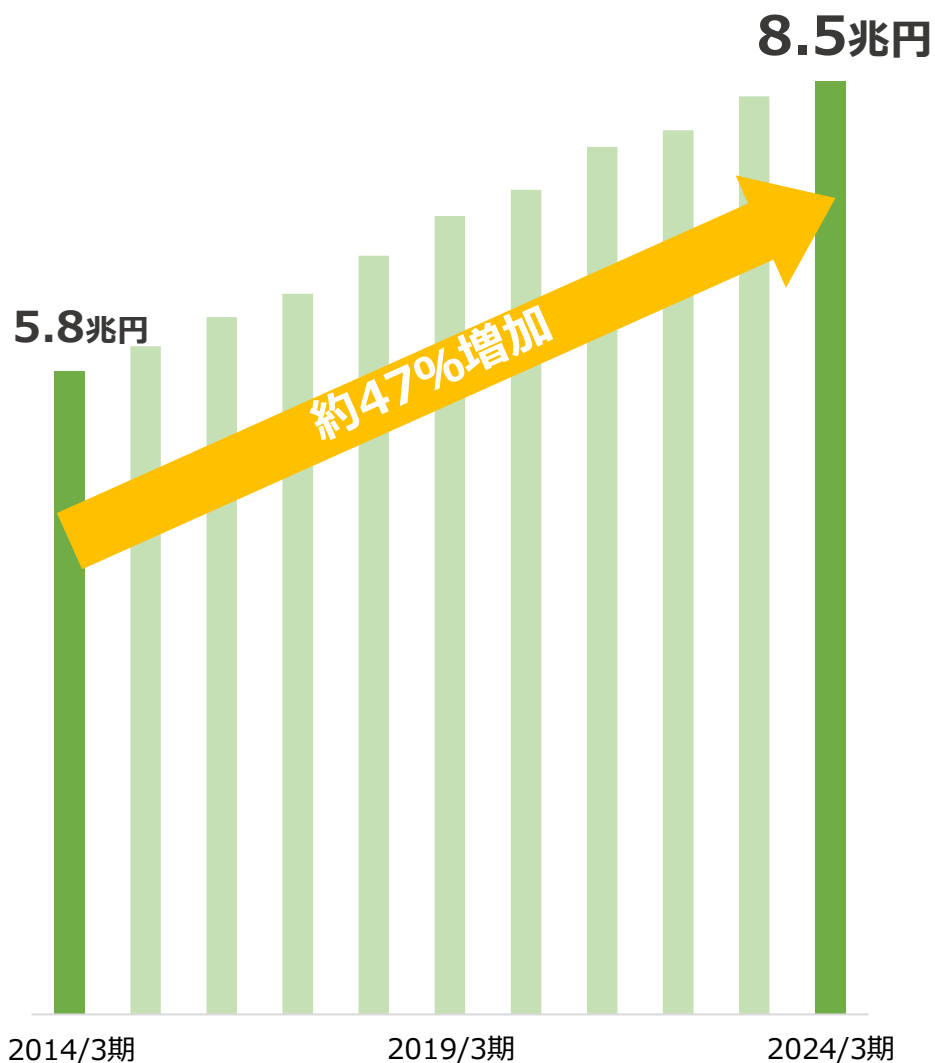
この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

Ⅱ. 業績

貸出金は10年間で2.7兆円増加

総貸出金平残（3行合算）



Topics

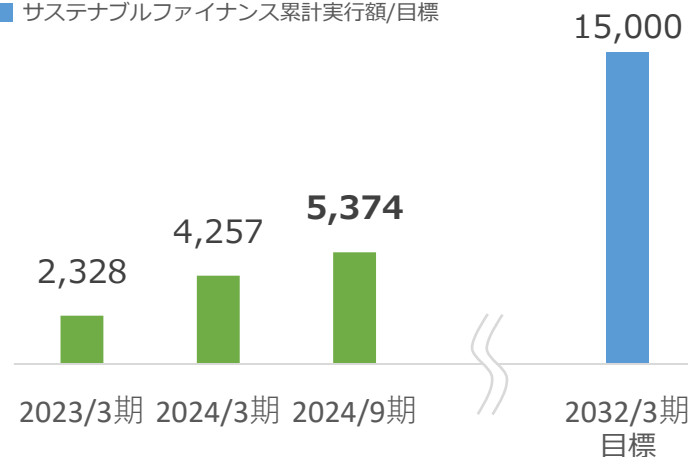
脱炭素社会の実現に向けた取り組み

- YMFG主要営業エリアは瀬戸内工業地域、北九州工業地域（地帯）として、古くから化学工業や鉄鋼産業が盛ん
- 環境への配慮は地域企業にも強く求められており、YMFGは企業の脱炭素に向けた取り組みを支援
- 環境対応への融資であるサステナブルファイナンスのほか、各企業に応じたCO₂削減に向けたロードマップの作成など、地域の脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進している

サステナブルファイナンス累計実行額（3行合算） および長期目標

（単位：億円）

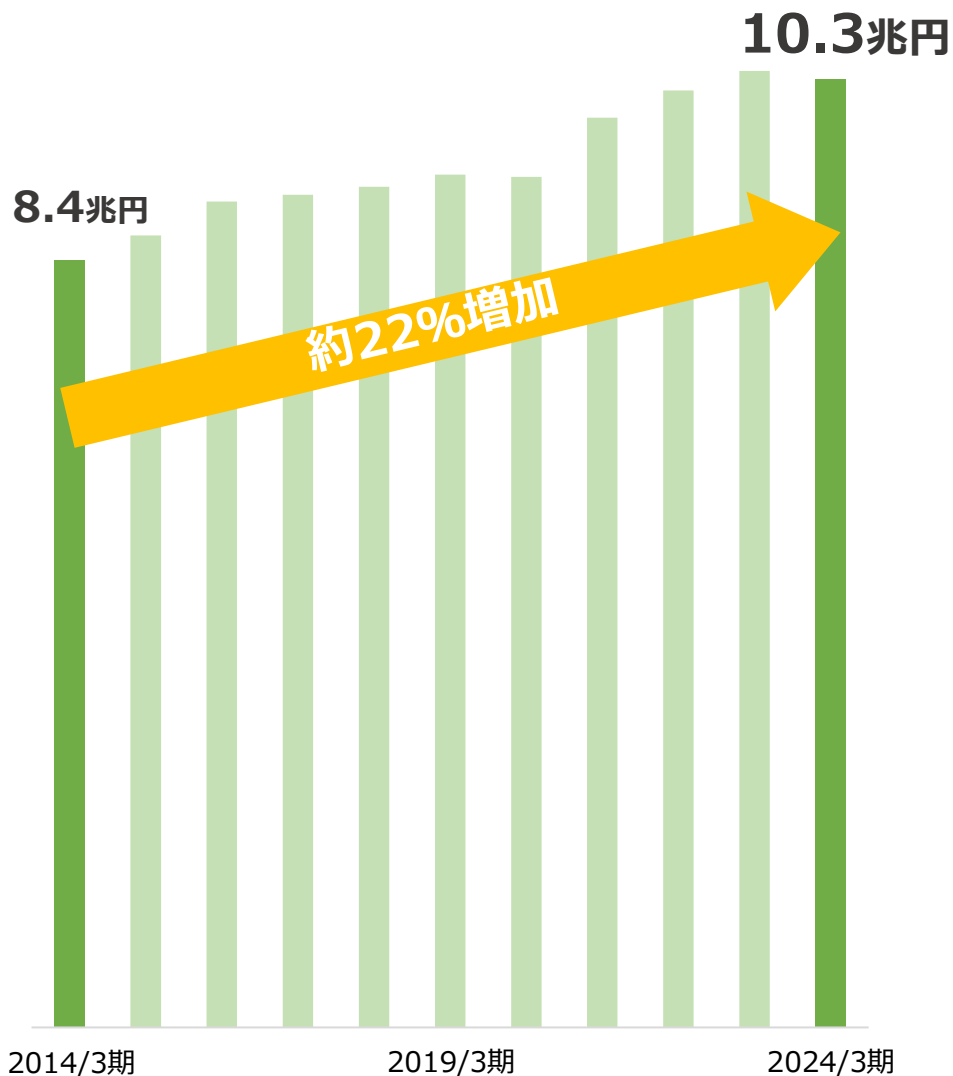
■ サステナブルファイナンス累計実行額/目標



預金

預金は10年間で1.9兆円増加

総預金平残（3行合算）



Topics

地域の特徴に応じた預金商品

- 山口銀行では、J2リーグに所属するレノファ山口FCのリーグ順位に応じて上乗せ金利が変動する「レノファV預金」の取り扱いを毎年行っている

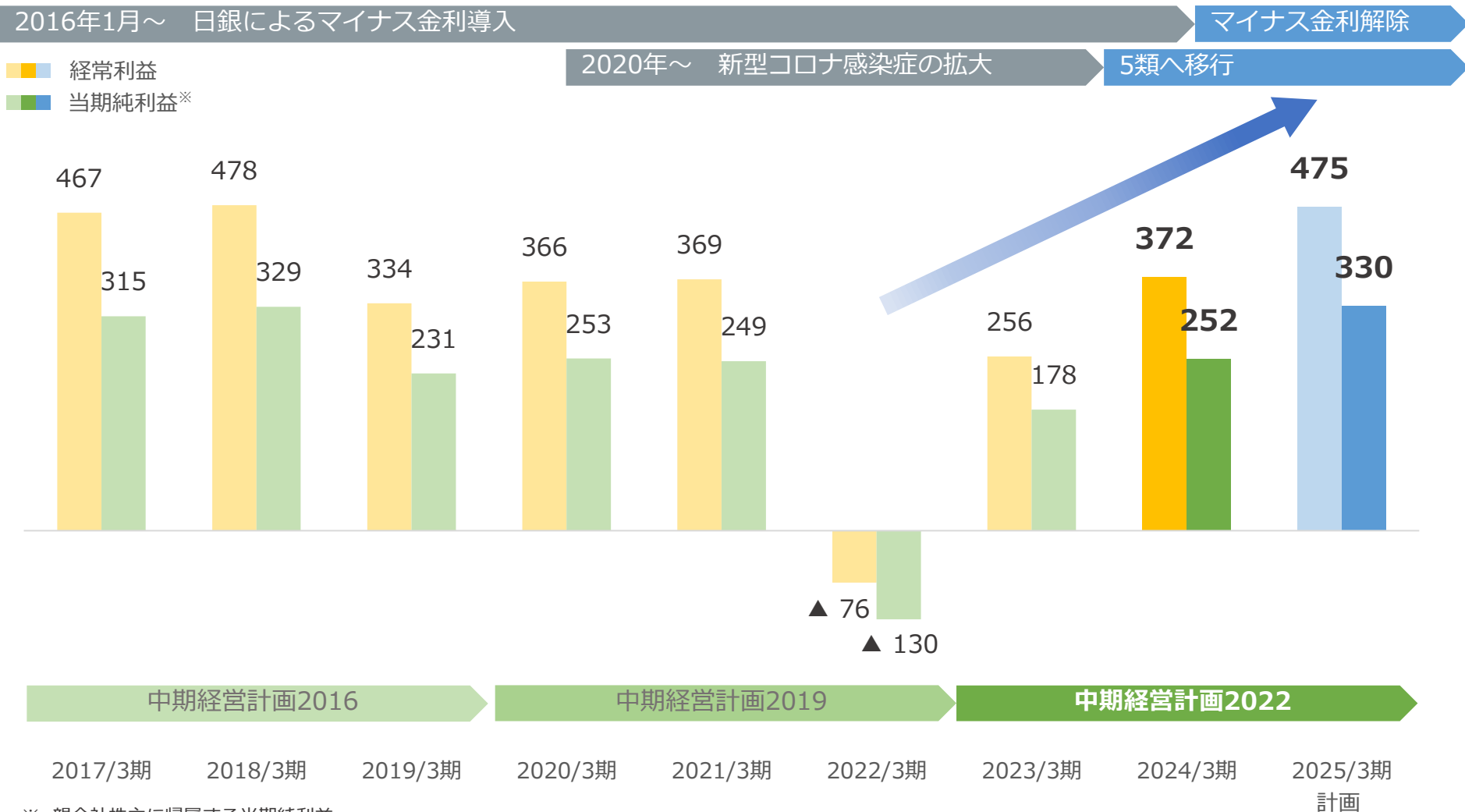


- もみじ銀行・北九州銀行でも独自の預金商品を展開



マイナス金利の解除など外部環境は改善

■ 経常利益および当期純利益※（FG連結）（単位：億円）



※ 親会社株主に帰属する当期純利益

現中期経営計画は1年目、2年目と計画指標を達成

現中期経営計画最終年度の当期純利益は過去最高益を見込む

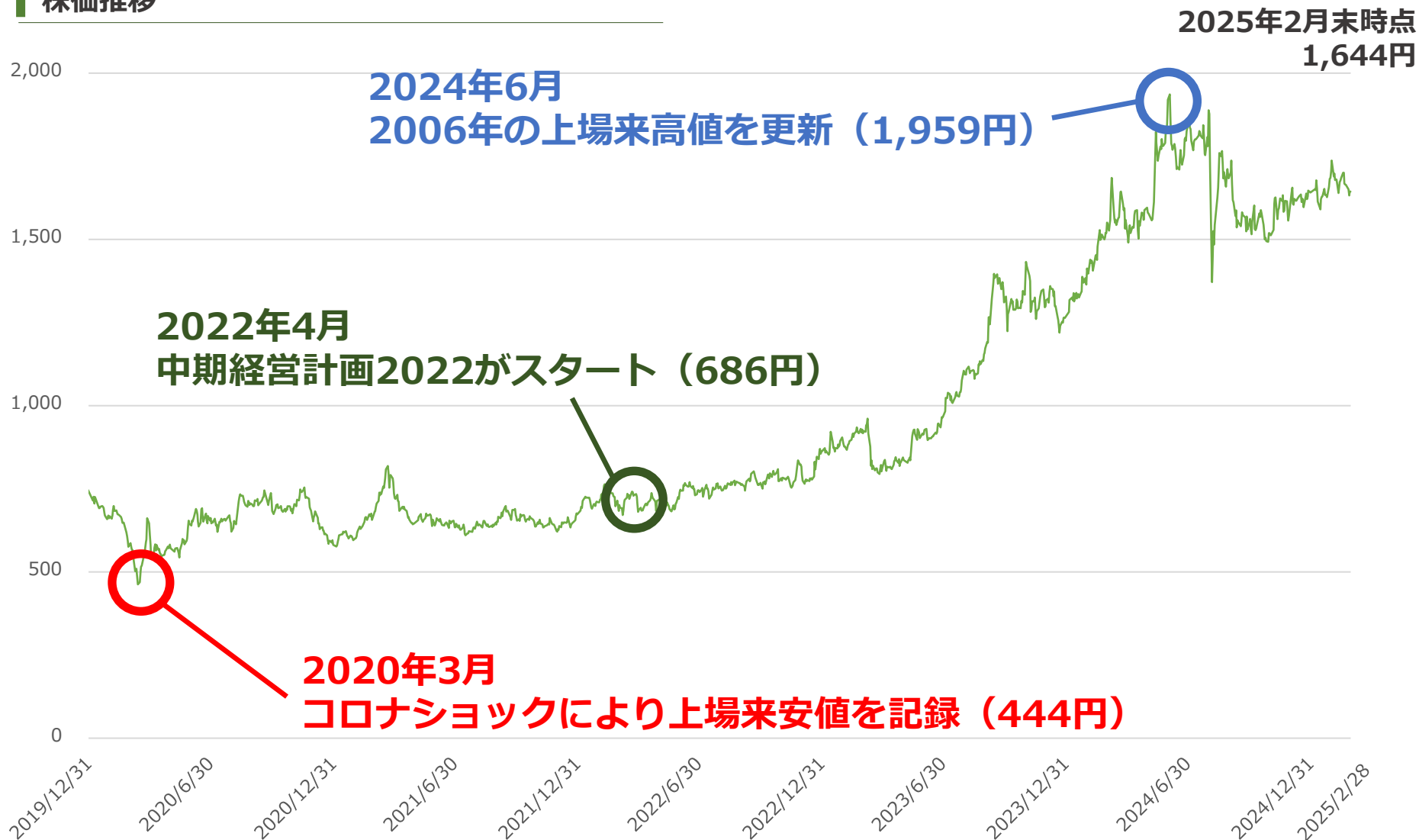
	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		
	計画	実績	計画	実績	計画	3Q実績	進捗率
経常利益	250億円	256億円	350億円	372億円	475億円	384億円	81%
当期 純利益 ^{※1}	170億円	178億円	240億円	252億円	<u>330億円</u>	251億円	76%
ROE	2.7%	2.9%	3.7%	4.0%	5.0%程度	5.2% ^{※2}	—

※1 親会社株主に帰属する当期純利益（2025年3月期3Q実績は四半期純利益）

※2 親会社株主に帰属する四半期純利益ベース

中期経営計画2022スタート以降、株価は上昇

株価推移



2025年1月に日銀が追加利上げを実施

利上げによる邦貨資金収支増加額

政策金利0.5%への追加利上げによる増収効果

2026年3月期は

2025年3月期比 **+65億円** 程度

【前提条件】

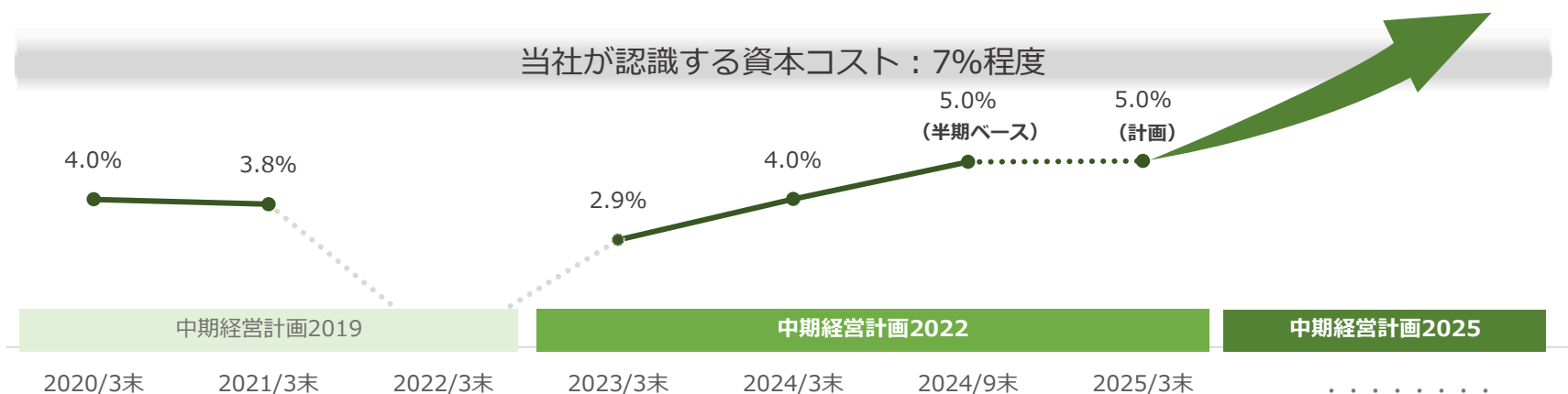
- 資産・負債残高：2025/3末見込み値が概ね継続
- 預金金利追随率：政策金利上昇幅の40%

- 貸出金利追随率（短プラ、市場連動、住宅ローン）：政策金利上昇幅の100%
- 貸出金利追随率（短プラ、市場連動、住宅ローン以外）：政策金利上昇幅の50%

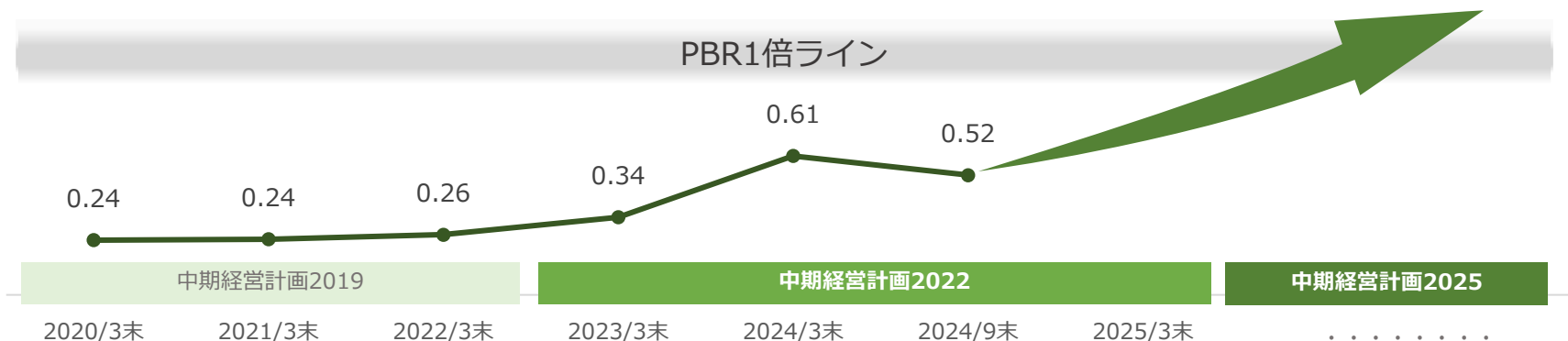
ROEおよびPBRの推移

次期中期経営計画期間中に資本コスト超のROE達成を目指す

ROEの推移 ※1



PBRの推移 ※2



※1 ROE：純資産ベース

※2 PBR：自己株式除くベース、株価は決算発表翌営業日の終値を基準に算出

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

Ⅲ. 株主還元

【株主還元方針】

配当性向

40%程度を目標

自己株式取得

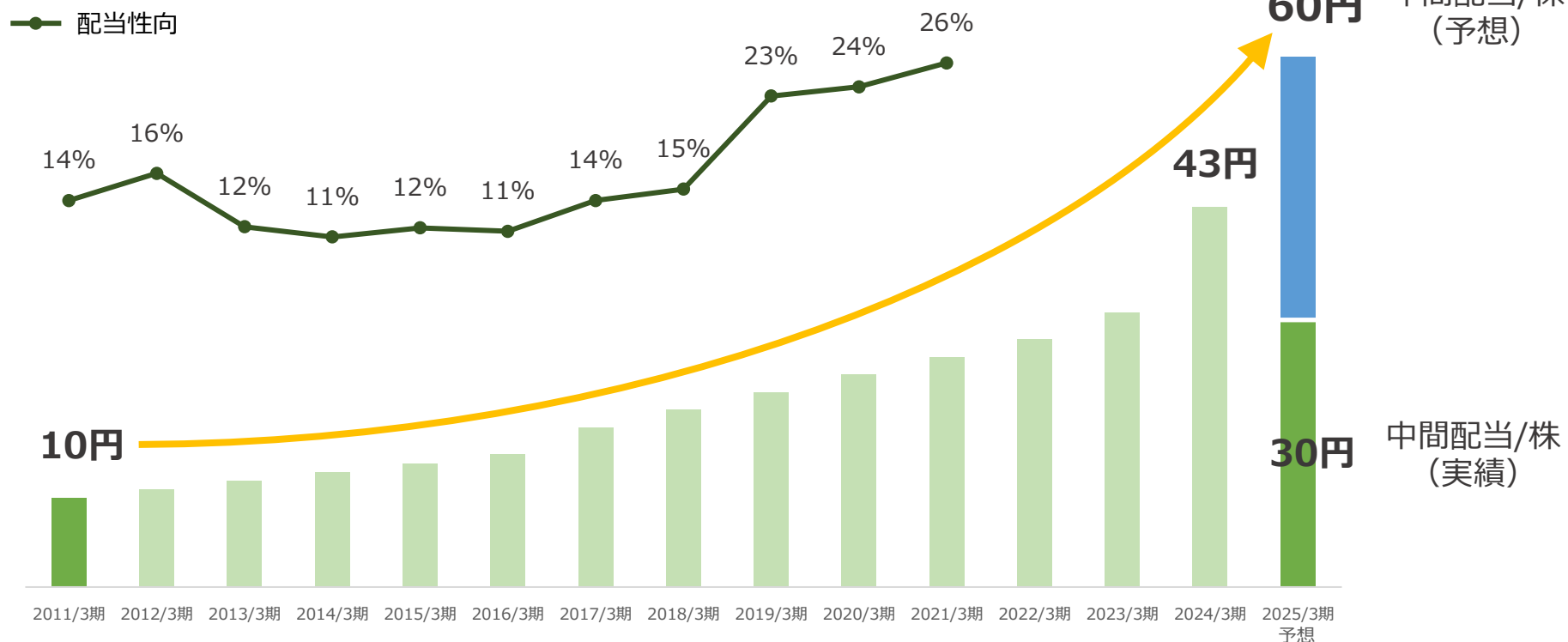
市場動向・業績見通し等を勘案した
柔軟かつ機動的な自己株式の取得

14期連続の増配を継続

年間配当／株・配当性向の推移

- 2025/3期の配当金は一株当たり**17円増配の60円**を予想、**14年連続で増配となる見込み**
- 年間配当は14年間で6倍に増加しており、**配当利回りは3.6%※**

※ 2025/3期予想年間配当60円、株価は2025年2月28日の終値（1,644円）に基づき算出



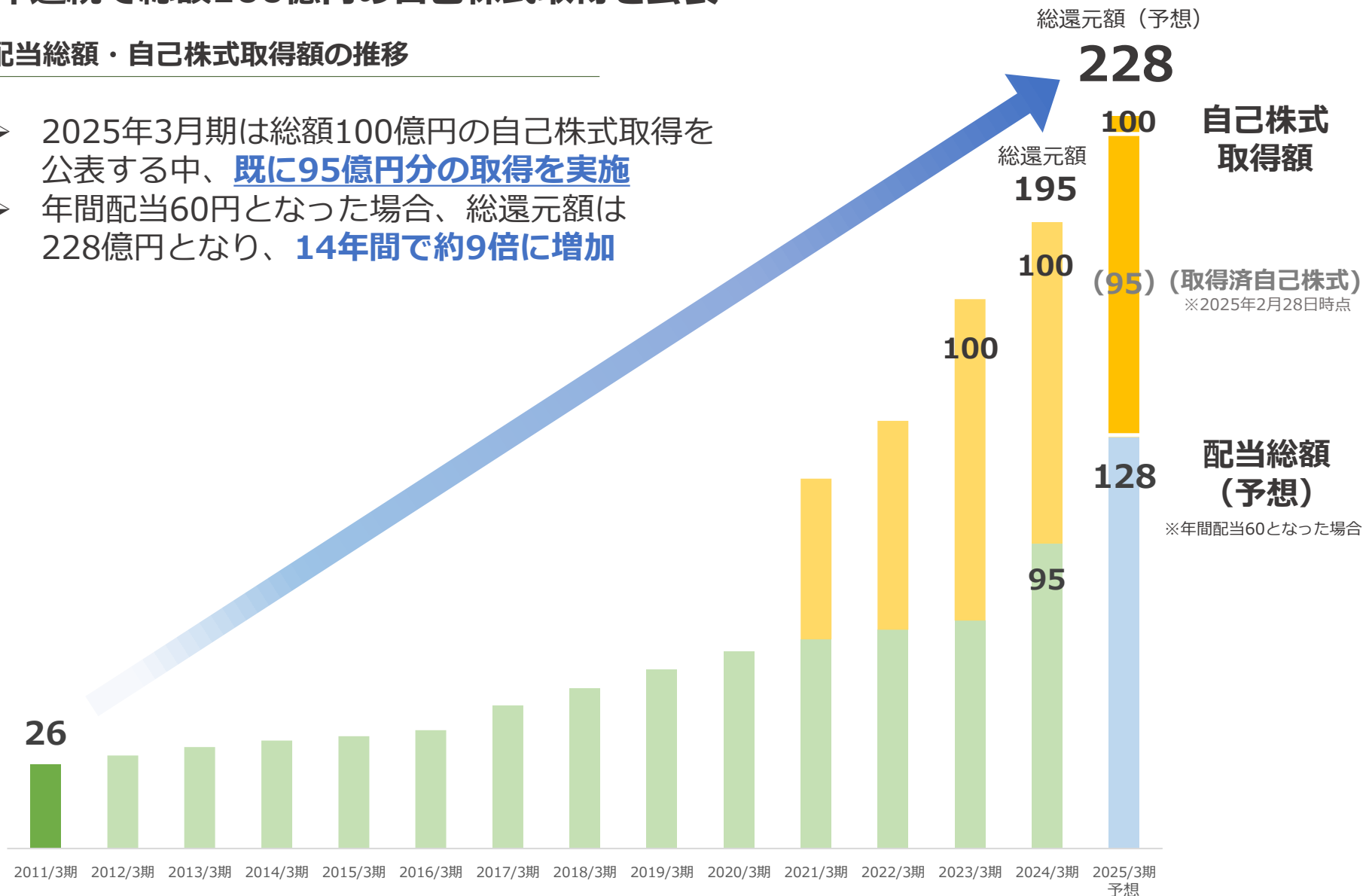
総還元額

3年連続で総額100億円の自己株式取得を公表

(単位：億円)

■ 配当総額・自己株式取得額の推移

- 2025年3月期は総額100億円の自己株式取得を公表する中、**既に95億円分の取得を実施**
- 年間配当60円となった場合、総還元額は228億円となり、**14年間で約9倍に増加**



高配当銘柄として日経マネーに掲載

Topics

銘柄の達人11人が選ぶ高配当株ランキングで第10位にランクイン

- 2025年3月号の日経マネーにおいて、銘柄選びの達人11人が「今後も増配が続きそうなお薦め銘柄」を厳選
- 大型株が選ばれる中、**当社株式が第10位にランクイン**

高配当株ランキング

1位	三菱HC キャピタル	東ブ・8593
2位	みずほ フィナンシャル グループ	東ブ・8411
3位	三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	東ブ・8306
4位	SOMPO ホールディングス	東ブ・8630
5位	NTT	東ブ・9432
6位	積水ハウス	東ブ・1928
7位	麒麟 ホールディングス	東ブ・2503
8位	トヨタ自動車	東ブ・7203
9位	東急不動産 ホールディングス	東ブ・3289
10位	山口フィナンシャルグループ	東ブ・8418

ランキング方法：過去10期の配当実績と今期予想配当を基に、この間に増配や減配がない（減配配当銘柄を除外）。その中から11人の達人に「今後も配当が継続的に増えそう」という視点で投票してもらった。各達人には自分が投資した銘柄の中でも順位付けをしてもらい、その順位も点数としてランキングに反映している。

上位には「大型」「金融」株がズラリ
政策保有株の売却も増配につながる

今後とも長く増配を続ける銘柄を選ぶには、財務体質や配当方針だけでなく、事業の将来性に関する企業分析も欠かせない。

そこで今回は、銘柄選びの達人11人（6ページ参照）に「今後も増配が続きそうなお薦め銘柄」を選んでもらった。過去10期にわたって減配がなく、累進配当を続けている銘柄が得集まる。そこから達人たちに厳選してもらい、集計したランキングが左の表だ。

大型株ほど還元圧力が高い

上位に並ぶのは大型株・大企業の方が、今後業績などの状況が一変するリスクは小さいと考える達人が多い。累進配当銘柄の中から選ばれるのは、大型株の方が増配が継続しやすいためと考える。

大型株の方が資本の有効活用への意識が高まりやすい点も評価できる。例えばPBR（株価純資産倍率）1倍割れの場合、投資家の目に多くさらされるプライム市場の主力株は、放置が許されない雰囲気がある（藤ノ井さん）

RANKING
10位

地方創生やインバウンドに期待、新分野の拡大も
山口フィナンシャルグループ
(東ブ・8418)

配当利回り
3.63%
(配当性向39%)

14期連続増配 | 5年平均増配率20%

自己資本比率	—	ROE	4.0%
株価	1651.0円	時価総額	3876億円
PER	10.6倍	PBR	0.54倍

業績の推移

業績や株価の評価

増配歴・配当方針

中国地方地盤の地銀大手。「地銀株は国内金利上昇の恩恵をダイレクトに受ける。石破政権が打ち出す地方創生というテーマにも乗る。山口県や広島県はインバウンド需要も強いエリア」（佐藤さん）。「半導体景気に沸く九州の需要も開拓している。コンサルティング子会社を通じたM&A仲介の強化やDX人材育成にも意欲的」（鈴木さん）

2023年3月期開始の中期経営計画で配当性向の目標をそれまでの30%から40%に引き上げ。連続増配実績も銀行トップ級だが、直近で増配ベースが加速し、25年3月期の1株配当は2期前の約2倍の60円見込み。

※ 日経マネー2025年3月号第2特集『攻めと守りの高配当株』より抜粋

当社株式の投資魅力を高めるため、株主優待を実施

Topics

地元の魅力がたっぷり詰まったカタログギフト

- 1,000株以上保有の株主さまには、保有株数に応じたカタログギフトを進呈
- 山口、広島、九州から選りすぐりの特別な商品をラインナップ
- カタログギフトの申込状況を分析のうえ毎年商品を入れ替えており、株主さまの満足度向上を図っている



株主優待カタログ

STOCKHOLDER BENEFIT CHOICE CATALOG 2024

[2024年度]

大切な株主さまへ、心を込めたおもてなし。



お申込期限
2024年8月31日(土)
※当日までにお申し込みください。

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

【2024年度株主優待カタログ人気商品】

ぶどうおまかせセット



山口県の地酒



山口県産こしひかり



ブランド牛精肉



ふく刺し・ふく鍋セット



>>実際のカatalogギフト（2024年度版）は当社HPからご覧ください

投資魅力をより一層高めるため、この度株主優待制度を拡充

【現行】

【2025年3月末基準】

保有年数 保有株数		保有株数	最低 投資金額	保有年数	
				3年未満	3年以上
100～ 1,000株未満	QUOカード (500円分)	100～ 500株未満	16万円		QUOカード (500円分)
		500～ 1,000株未満	82万円	新設	地域特産品（2,000円相当）
1,000～ 5,000株未満	カタログギフト (5,000円相当)	1,000～ 5,000株未満	164万円	カタログギフト (5,000円相当)	新設 左記カタログに加え 地域特産品（3,000円相当）
5,000株以上	カタログギフト (10,000円相当)	5,000株以上	822万円	カタログギフト (10,000円相当)	新設 左記カタログに加え 地域特産品（3,000円相当）

拡
充

※ 最低投資金額は2025年2月28日の終値（1,644円）に基づき算出
※ 2026年3月末基準以降、株主優待制度対象者に継続保有期間の条件が設定されますのでご注意ください
※ 詳細は当社HP「[株主優待制度の変更に関するお知らせ](#)」をご確認ください

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく変更されることがあります。本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご注意ください。

【本資料に関するお問い合わせ先】
株式会社 山口フィナンシャルグループ
総合企画部 広報・IR室
TEL 083-223-5545
<https://www.ymfg.co.jp/>

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg